

2019年3月26日

鹿児島大学病院 脳神経外科 で
脊髄動静脈瘻の治療を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

脊髄硬膜・硬膜外動静脈瘻の鑑別診断と治療成績の解明

【研究機関】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

【研究責任者】

都立神経病院 脳神経外科

医長 高井敬介

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

講師 山畑仁志

【研究の目的】

脊髄動静脈瘻とは、毛細血管を介さずに動脈から静脈に血流が短絡する疾患で、歩行障害・排尿障害・しびれ・痛みなどの進行性の神経脱落症状をきたす治療困難な脳神経外科疾患の一つです。脊髄動静脈瘻は稀なため、大学病院の脳神経外科施設でも年に1-2件の経験に限られています。また、脳と比較して、

脊髄は小さく重要な機能局在があり血管手術が難しいです。これらの理由のため、現時点では診断や治療方法が確立していません。神経病院の脳神経外科では、一般神経外科病院とは異なり、脳だけでなく脊髄外科疾患の難病治療に一貫して取り組んできました。そこで、本研究では、神経病院の症例経験を生かし、稀少疾患である脊髄動静脈瘻の鑑別診断と治療法の解明を目的としています。

【研究の方法】

脊髄動静脈瘻症例について、特に、硬膜動静脈瘻と硬膜外動静脈瘻の鑑別診断に焦点を当てます。臨床症状、MRI・血管造影による術前画像診断を分析比較し、鑑別診断に重要な所見を明らかにします。さらに、治療方法、治療後の閉塞率、神経症状の変化、再発率について臨床転帰を明らかにします。

【対象となる患者さん】

2009年1月1日から2018年12月31日までに、鹿児島大学病院脳神経外科で胸椎・腰椎・仙椎レベルの脊髄硬膜動静脈瘻と脊髄硬膜外動静脈瘻と診断された患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

患者さんの症状、画像を参照させていただきます。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施

します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

講師 山畑仁志

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041